作成日 2023年 10月 26日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称 N,N-ジイソプロピルエチルアミン N,N-Diisopropylethylamine

製品名 N,N-ジイソプロピルエチルアミン 製品コード F-020539

SDS整理番号 ZC23046-01 会社名称 善方はかまなる主

住所 東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階

電話番号 03-3839-5861 FAX番号 03-3839-5877 緊急連絡電話番号 03-3839-5861

推奨用途および使用上の制限溶剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分2

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分3 皮膚腐食性/刺激性 区分1B 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

注)上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体および蒸気

H301 飲み込むと有毒

H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

H318 重篤な眼の損傷 H402 水生生物に有害

H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233 容器を密閉しておくこと。

P240 容器を接地しアースを取ること。

P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

P242 火花を発生させない工具を使用すること。 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P303+P361+P353 皮膚または髪に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を水またはシャワーで洗うこと。

N.N-ジイソプロピルエチルアミン - 善ケミカル株式会社 - ZC23046-01 - 2023年 10月 26日

P370+P378 火災の場合: 消火するために粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する

こと。

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに医師に連絡すること。

P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させるこ

と。

P310 ただちに医師に連絡すること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用

していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者

に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別 単一物質

化学名または一般名 N,N-ジイソプロピルエチルアミン N,N-Diisopropylethylamine

慣用名または別名 N-エチルジイソプロピルアミン、N-エチル-N-イソプロピル-2-プロパンアミ

ン他

CAS番号 7087-68-5

分子式 (分子量) C8H19N (129.24)

 H_3C N CH_3 H_3C CH_3

成分および濃度または濃度範囲

官報公示整理番号

構造式または示性式

99.00%以上(GC)

化審法: (2)-3499 安衛法: 2-(10)-188

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させるこ

と。

ただちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

医師に連絡すること。

眼に入った場合 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医師に連絡すること。

飲み込んだ場合口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。 ただちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事 適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水スプレー、耐アルコール泡消火剤、粉末薬剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 情報なし

火災時の特有の危険有害性 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意

すること。

特有の消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させること。

消火作業は風上の安全な地点から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方

法を用いること。

周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。

防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急 個人用保護具を着用すること。

時措置

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す

ること。

十分に換気を行うこと。

すべての着火源を取り除くこと。

蒸気は低い場所に蓄積し、爆発の可能性のある濃度になりうるため、蒸気に

注意すること。

環境に対する注意事項

封じ込めおよび浄化の方法および機材

環境中に放出しないこと。

すべての発火源を速やかに取除くこと(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

火花を発生しない安全な用具を使用すること。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 技術的対策

火花を発生させない工具を使用すること。

安全取扱注意事項 適切な保護具を着用すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

できれば密閉系で取扱うこと。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。炎や高温のものから遠

ざけること。

静電気対策を行うこと。

この製品と身体とのあらゆる接触を避けること。 使用していないときは容器を密閉しておくこと。

取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、冷暗所に保管すること。

換気の良い場所で保管すること。

直射日光や火気、熱、スパーク、混触危険物質、食料などから離して保管する

こと。

静電気対策を施すこと。 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従うこと。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度

データなし

設備対策

保護具

ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置す

静電気放電や帯電に対する予防措置を講ずること。 防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

呼吸用保護具 手の保護具

不浸透性の手袋。

保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。 眼、顔面の保護具

皮膚および身体の保護具

不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。

9. 物理的および化学的性質

物理状態 色

液体 無色 なし

臭い 融点/凝固点

-50℃

沸点または初留点および沸点範囲

127℃(1.013 hPa)

可燃性

データなし

爆発下限界および爆発上限界/可燃限界

爆発上限: 6.3 %(v)、爆発下限: 0.7 %(v)

引火点 自然発火点 12℃ データなし データなし

分解温度 Hq

12.3(1%水溶液) データなし

動粘性率 溶解度 [水]

不溶

[その他の溶剤]

可溶:

n-オクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧

アルコール、キシレン $-1.8(22.5^{\circ})$ 4.1kPa(37.7°C)

密度および/または相対密度(g/ml)

相対ガス密度 0.776 g/cm3(25°C)

粒子特性 データなし

10. 安定性および反応性

反応性 データなし

化学的安定性 適切な条件下においては安定。 危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。 避けるべき条件 熱、炎、火花。極端な温度と直射日光。

0.76

混触危険物質 酸化剤、酸

危険有害な分解生成物 二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

データなし 急性毒性 経口 データなし 経皮 データなし 吸入 データなし 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 データなし 呼吸器感作性 データなし 皮膚感作性 データなし 生殖細胞変異原性 データなし 発がん性 データなし 生殖毒性 データなし データなし 特定標的臓器毒性(単回ばく露) データなし 特定標的臓器毒性(反復ばく露) データなし 誤えん有害性

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類 データなし データなし 甲殼類 データなし 藻類 データなし 残留性・分解性 データなし 生物蓄積性(BCF) 土壌中の移動性

n-オクタノール・水分配係数 -1.8(22.5℃) 土壌吸着係数(Koc) データなし

ヘンリー定数(PaM3/mol) データなし

オゾン層への有害性 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険

有害性のレベルを低い状態にすること。

汚染容器および包装の安全で、かつ、環境

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共 **上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する** 団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

> 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に 従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

情報

国連番号

国連輸送名 AMINES, FLAMMABLE, CORROSIVE, N.O.S. (N,N

Diisopropylethyl Amine)

国連分類 クラス3(引火性液体) クラス8(腐食性物質) 副次危険性等級

容器等級 Π 海洋汚染物質 非該当

その他の注意 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み

込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

重量物を上積みしないこと。

輸送時も静電気対策を怠らないこと。

緊急時応急措置指針番号 132

15. 適用法令

労働安全衛生法 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

消防法 第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第

1.第4類)

航空法 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1) 船舶安全法 引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)

港則法 その他の危険物・引火性液体類(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種

類を定める告示別表)

道路法 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済

機構公示第12号·別表第2)

外国為替及び外国貿易法 輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

主な参考文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版GHS(2023/12/25ア

クセス)

webデータベース "ezADVANCE"(2023/10/25 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2023/10/25 アクセス)

安全データシート "N,N-Diisopropylethylamine", 東京化成工業株式

会社 2022/03/19 改訂版

安全データシート "N-エチルジイソプロピルアミン", 富士フィルム和光純薬

株式会社 2023/02/03 改訂版

SAFETY DATA SHEET (N, N Diisopropylethyl Amine), Pacific

organics pvt ltd

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 10月 26日 作成